

忠臣蔵でお馴染みのあの人の像がなぜ笠間に… 大石内蔵助と笠間の関係

笠間昔話

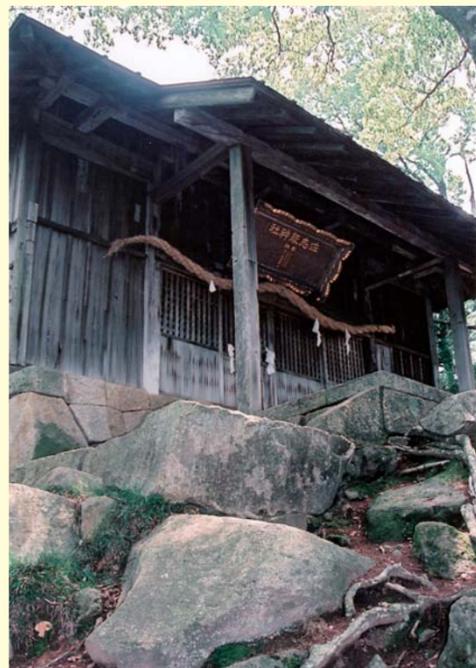


豆知識のコーナー「内蔵助は通称です」
内蔵助(くらのすけ)という呼び名が名前のように思われていますが、実はこれ、通称です。内蔵助とは内蔵寮(律令制において中務省に属した機関)の次官のことなので、役職名を表しています。ですから、忠臣蔵で知られる大石良雄(おおいしよしかか)は、大石内蔵助と呼ばれていましたが、曾祖父の良勝や祖父の良欽(よしあか)もまた、大石内蔵助だったのです。

佐白山麓公園内に建てられている「大石内蔵助良雄像」。



笠間日動美術館隣りにある「大石邸跡」。ここに笠間藩主・浅野氏の家老であった大石家の屋敷がありました。



佐白山頂にある佐志能神社の拝殿には笠間城の材木が使われています。

現在の笠間市街地の礎は浅野氏時代に形成

佐白山麓公園に忠臣蔵や赤穂浪士の物語で知られる「大石内蔵助良雄(おおいしよしかか)の銅像が建っています。なぜ笠間に?…この疑問を解消するため、笠間市史編さん専門委員長を務める小室昭先生に話を伺いました。

笠間とのつながりは、赤穂藩主の浅野氏が、赤穂藩へ国替をする以前は笠間藩主だったことによります。浅野家の家老を務めていたのが大石家で、良雄の曾祖父・良勝と、祖父の良欽(よしあか)が住んでいた屋敷が笠間にあったのです。父である良昭が6歳ぐらいの時に国替えがあり、赤穂へ移り住んだので、残念ながら良雄は笠間で暮らしたことはありません。しかし、浅野氏が笠間に与えた影響は大きいものでした。笠間市街地の旧町名に新町がありましたが、これは浅野氏が笠間藩主だった時代(元和8年/1622年~正保2年/1645年)、水田を埋めて町人町にしたものです。また、同じ頃に

大和田や鷹匠町、その周辺を武家町に広げました。こうして5万石の城下町が完成。つまり、現在の笠間の礎(いしづえ)は、浅野氏が築いたと言えるでしょう。なお、当時の笠間城の面影は、佐白山を中心にわずかながら残されています。ちなみに大石内蔵助良雄像は、討ち入り先である吉良邸があった本所松坂町(現在の東京・両国の辺り)を向いて建てられています。そして、忠臣蔵にちなんで昭和48年に結成された「笠間義士会」では、毎年討ち入りの日に義士パレードを開催しています。今年も12月14日(月)に、武蔵酒造前~笠間稲荷神社~荒町までの道のりをパレードします。



小室昭先生。お世話になりました。

冬のイベント情報

【2010年1月~3月】に開催されるイベント情報を掲載しています。

第9回 かさま除夜の鐘

12/31(木) 23:00~元旦1:00
新年のスタートに時鐘をついてみませんか。人数に制限はありません。また先着100名様には温かい飲み物の無料配布のサービスもあります。
場/佐白山麓公園内 時鐘楼
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.kasama-kankou.jp/

来年へ歩く会

12/31(木) 22:30~元旦0:30(受付は23:30まで)
愛宕神社の初詣と山頂での初日の出。記念品として湯呑み茶碗をプレゼント(限定400名)。
場/愛宕神社(受付/旧ホテル歌舞伎駐車場)
問/来年へ歩く会実行委員会(田口) tel 090-2647-9815

初詣/初日の出



笠間稲荷神社【初詣】

日本三大稲荷の一つ。約80万人の人が参拝に訪れます。大晦日に御礼参りをし、午前零時を期して再び参拝する「二年参り」が盛んです。
問/tel 0296-73-0001 www.kasama.or.jp/

常陸国出雲大社【初詣】

本殿は「大社造り」とよばれ、日本最古最大様式の神社建築です。縁結びの神様で有名。
問/tel 0296-74-3000 www.izumotaisha.or.jp/

愛宕神社【初詣/初日の出】

日本三大火防神社の一つ。天狗の伝説が残る愛宕山は初日の出のスポットとしても格別です。
問/tel 0299-45-5637

あたご天狗の森 スカイロッジ【初日の出】

愛宕山の山頂近くにある宿泊施設「スカイロッジ」は、四季折々の眺望を楽しむことができます。初日の出を見るのにも絶好のスポットです。
問/スカイロッジ管理事務所 tel 0299-45-6622
www.kasama-kankou.jp/atago_skylodg/index.html

笠間日動美術館

輝ける女性像

3/26(金)まで
一世五姓田芳柳、その子義松、青木繁、竹下夢二、岡田三郎助、梅原龍三郎、鴨居玲、萩太郎、栗原喜依子、などの作品を展示。

《同時開催》高橋由一と日本近代洋画

3/26(金)まで
幕末から明治初期、西洋画を取り入れ、日本近代洋画を開拓した高橋由一とチャールズワーグマン、黒田清輝、藤島武二らの作品の展示。
開/9:30~17:00(入館は16:30まで)
休/月曜(但し1/11・3/22は開館、12/25~1/1・1/12・3/23は休館)

料/大人1,000円、大高生700円、中小生500円、65歳以上800円
(春風萬里荘との共通券/大人1,400円、大高生900円、中小生600円、65歳以上1,100円)
問/tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/museum/

第11回 彩初窯市(いろどりはつがまいち)

1/2(土)~1/5(火) 10:00~16:00(最終日は15:00)
新春恒例の陶器市。チャリティー福袋の販売や福引抽選会、甘酒無料サービスなども行われます。
場/笠間工芸の丘 特設会場
問/笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058
www.kasamayaki.or.jp/
(期間中:笠間工芸の丘 tel 0296-70-1313)
www.kasama-crafthills.co.jp/

笠間工芸の丘

窯業指導所「成形II科作品展」 1/2(土)~1/24(日)
第6回 ひとにやさしい器展 1/2(土)~1/24(日)
桃宴~2010~ 1/27(水)~3/3(水)
Blowing From The Forst-陶と音楽と映像- 2/3(水)~2/14(日)
斎藤政秋 作陶展 2/17(水)~2/28(日)
柳橋進・柳橋修二 作陶展 3/3(水)~3/14(日)
岡田和 作陶展-染付・色絵の器- 3/5(金)~3/28(日)
Roland Sachse 2010-使い方いろいろ・楽しみ方自分流- 3/17(水)~3/28(日)
休/月曜(祝日の場合は翌日)、12/24~1/1
問/tel 0296-70-1313
www.kasama-crafthills.co.jp/

第13回 笠間観光フォトコンテスト作品展

《笠間ショッピングセンターポレポレシティ内》
1/12(火)~1/22(金) ※最終日は16時まで
《友部図書館》 1/26(火)~2/2(火)
《笠間市役所若岩支所》 2/3(水)~2/10(水)
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.kasama-kankou.jp/

ワーホイ

1/9(土) 18:00~
小正月に行われる笠間市五平地区の伝統的な火まつり。無病息災を祈願します。焼き餅や甘酒などの振る舞いもあります。
場/笠間市五平地区内水田
問/五平クラブ(藤枝) tel 0296-78-0795

第10回 かさまの陶雛~桃宴~

1/27(水)~3/3(水)
今年で10回を迎える桃宴は、笠間焼の陶雛や手づくり吊るし飾り雛を中心に、市内の笠間焼作家・商店街・学生・幼稚園親子が作り上げる笠間のひな祭りです。陶雛ワークショップやライブも開催。飲食店では、ひな祭り限定メニューがいただけます。
場/陶の小径、ギャラリーロード、笠間稲荷神社門前通り周辺、笠間駅周辺、やきもの通り、友部インター周辺
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222
http://hinatouen.exblog.jp/
※詳細は4・5ページをご覧ください。

茨城県陶芸美術館

人間国宝 濱田庄司展
民藝運動の中心人物であり、益子を中心に常に第一線で活躍した民藝陶器の人間国宝(重要無形文化財保持者)濱田庄司の全貌を紹介します。
1/23(土)~3/22(月・祝) 9:30~17:00(入館は16:30まで)
料/一般700円、大高生500円、小中生250円
休/月曜(祝日の場合は翌日)、12/29~1/1
問/tel 0296-70-0011
www.tougei.museum.ibk.ed.jp/

節分追儺式/節分祭

2/3(水) 笠間稲荷神社 15:00~、19:00~
笠間稲荷神社の節分追儺式では、金銀福豆と共に福銭等が撒かれるほか、地元商店会の協力でお楽しみ福袋引換券も撒かれます。
場/笠間稲荷神社
問/笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001
www.kasama.or.jp/
(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.kasama-kankou.jp/

第3回 笠間初午いなり寿司まつり

1/31(日)・2/1(月) 10:00~15:00
笠間名物いなり寿司を食べて、史上最長のそばいなり寿司巻きに挑戦してみよう。
場/笠間稲荷神社参道・ポケットパーク
問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101
www.city.kasama.lg.jp/

いちご狩り

南指原観光いちご園
1月下旬~5月下旬 9:30~15:30(受付は15:00まで)
料/2月1,300円、3月1,200円、4月1,100円、5月1,000円(3歳以下無料、20名以上割引有り ※団体は要連絡)
休/月曜(祝日の場合は翌日) 問/笠間クラインガルテン農産物直売所 tel 0296-70-3133
www.city.kasama.lg.jp/garten/ichigo/index.htm



笠間観光いちご園

1月中旬~5/10(月) 9:30~15:30(受付は15:00まで)
料/2月1,300円、3月1,200円、4月1,100円、5月1,000円(3歳以下無料、20名以上割引有り ※団体は要連絡)
休/無休 問/笠間みんがけい tel 0296-72-9280

第6回 クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま

3/21(日)~3/30(火)
フランスで毎年開催される最高レベルのアカデミーを笠間で開催。国内外の有名教授たちによる充実したレッスンが行われます。また、講師コンサートや公開レッスン、受講生のコンサートなど、さまざまな企画が予定されています。
場/茨城県教育研修センターほか
問/クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま実行委員会 tel 0296-77-1101(笠間市生涯学習課)(財)ジェスク音楽文化振興会 tel 03-3499-4530
www.jesc-music.org



↑華やかな演出がなされた陶雛。思わず足を止める美しさです。

←陶雛の作陶風景。コツコツと1つ1つ造られています。根気のいる作業です。

祝・開催10回記念

かさまの陶雛～桃宴～の楽しみ方

今年で10回目を迎えた「かさまの陶雛」が、陶の小径とギャラリーロード、笠間稲荷門前通りを中心に、一足早い「春」を華やかに演出します。30数名の陶芸作家による陶雛が、桃宴の参加店に飾られます。お気に入りの陶雛を探しながら、いろいろな通りをのんびり散策してみませんか？ 写真協力/山中写真館

まずはパンフレットを入手。そして目的地へ着いたら、とにかくゆっくり歩きましょう。

まずは、笠間駅前前の観光案内所へ行きましょう。そこで、「かさまの陶雛」のパンフレットを入手すべし。パンフレットには、陶雛の写真と、参加店のマップが印刷されています。会場は大きく、市内2箇所に分かれています(ギャラリーロードと笠間稲荷門前通り)。歩きではちょっときついかもしれません。今年は暖冬なので、ポカポカ陽気の時は、観光案内所のレンタサイクル

ルを利用すると大変便利です。また、赤くて可愛い市内周遊の観光バスに乗るのもおすすめです。目的地に着いたら、とにかくゆっくり歩くこと。お気に入りの陶雛を見つけたら遠慮なくお店の中へ。「見せて下さい！」と声をかけると、親切に作り手のことなど裏情報も教えてくれるかも。とにかくどんだん声をかけましょう。会場周辺10数箇所に設置される「かくや雛」を見

つけるのも楽しいですよ。さて、何軒も回ってお腹が空いたら、再びパンフレットをチェック。20軒の飲食店参加店に、期間限定の桃宴メニューがあるので、これは見逃せません。工夫を凝らした桃宴メニューをお楽しみ下さい。今年は10周年ということで、いろいろな新しい楽しい企画が目白押しです。イベントの日程を確かめて行かれることをおすすめします。



笠間再発見! VOL.021

お店ではこんな風に陶雛が飾られています。小さなお子さんによる可愛い作品もあります。

【期間中の主なイベント】1/27(水)～3/3(水)

- みんなで作ろうお雛さま
 - * 窯元 (いそべ陶苑・製陶ふくだ・大津兜窯)
 - 毎日開催 2,000円
 - * 陶の小径 (やまさき陶苑・東風舎・原陶工房・丹野陶房)
 - 毎週日曜日のみ開催 *要予約 2,000円
- お雛さまライブ～女流陶芸家が歌う～
 - 2月20日(土) 午後2時より
 - 出演 山口 由美 (ボサノバ)
 - 鈴木 宏美 (フォーク系)
 - * ONE DRINK 300円
 - * 連絡先・場所/陶の小径 内 東風舎 tel 0296-72-5205

桃宴ブログ <http://hinatouen.exblog.jp/> も検索してみてください！

桃宴10周年記念「えんむすび～な」ワンコインで登場

日本人が古くから大切にしてきた「ご縁」に着目。笠間焼との良いご縁がありますようにとの願いを込めて、笠間焼のひな祭り・縁結びグッズが登場します。価格は手頃なワンコイン(500円)になる予定。お店や作り手、何よりも笠間とのご縁をお探してください。※手作りのため、数に限りがある場合があります。(やまさき陶苑・東風舎・原陶工房・向山窯・陶芸館・製陶ふくだ・大津兜窯)

人気の体験型旅行プラン「笠間発見伝」に桃宴が登場

好評の旅行プラン「笠間発見伝」に、桃宴を楽しめるプランが登場しました。人間国宝・濱田庄司の企画展や、大人気の真壁のひな祭りもいっしょに見ることが出来るお得なプランです。詳しくは「旅の発見」のホームページから検索してくださいね。*旅の発見ホームページ <http://tabihatsu.jp/>

「私の食卓～愛する貴方に～」 「Ocha-1 グランプリ」受賞者決定!

「私の食卓～愛する貴方に～」部門
グランプリ「ふるりの 笠間焼囲む 古希の秋」 会沢良子作



「私の食卓～愛する貴方に～」部門
(↓左より) グランプリ 会沢良子さん、準グランプリ 児玉多美子さん、3位 崎 光子さん



「Ocha-1 グランプリ」部門
↓グランプリの山口保雄さん

10月31日から11月3日にかけて開催された「第20回 匠のまつり」。スペシャル企画として行われた「私の食卓～愛する貴方に～」の受賞者が決定しました。これは笠間焼が大好きな一般の主婦の方々によるコーディネート対決。5,000円の予算で会場内で買い物をしてもらい食卓を作りました。また、「Ocha-1 グランプリ」の受賞者も決定。こちらは笠間焼出展者による「ごはん茶碗」のNo.1を決めるコンテストで、いずれも来場者による投票審査で順位が決定されました。受賞者の皆さん、おめでとうございます！

おいなりサミット2009 開催



第4回
笠間の
おいなり
寿司
コンテスト

↑笠間のおいなり寿司コンテスト/子どもの部グランプリ「きつねとためきのぼかし合い」清水比奈乃さん(樹川市)

←笠間のおいなり寿司コンテスト/一般の部グランプリ「森のフクロウ白いなり」友部郁美さん(笠間市)



第3回 ひよひバク選手権 会場

ステージイベント「おいなり寿司トライアスロン」

10月25日は今年で4回目を迎える「笠間のおいなり寿司コンテスト」が開催され、一般の部25点、子どもの部6点の出品の中から、各グランプリをはじめ10点が受賞しました。また、笠間名物おいなり寿司をはじめとする「ひよひ」とつまって「バク」っと食べられる、ワンハンドフーズの祭典「第3回ひよひバク選手権」が11月21日と22日の2日間にわたり開催。各グランプリ受賞作品のアイデアを生かした商品が販売されました。来場者による人気投票の結果、優勝は大久保鳥肉店(笠間市)の「焼きとり」に決定。そのほか受賞した皆さま、おめでとうございます！

Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう!



左から駒村清明さん、奥さんの富美恵さん、望月聡美さん、柴沼睦子さん。



水車の動力部分。手作りの製法のため、熟練した匠の技が必要になります。



駒村清明堂(石岡市)では、自然の川水による水車を利用し、杉線香を製造しています。

VOL.19 香りで笠間を感じよう! 馨る茨城～百年の香り～

102年の歴史を誇る菊まつりは、毎年10～11月に開催され、県内外より訪れる多くの来場者で賑わいをみせています。しかしながら、菊関連の名物土産がないのが現状でした。「笠間に菊のご当地商品を!」そんな声に応えたのは、茨城県商工会連合会が国の「地域資源〆全国展開支援事業」として実施した「馨る茨城プロジェクト!」。県内各地の香り製品をつくる同事業にて試作品を昨年度に開発。本年度はさらに改良を重ね、試験販売をしています。

笠間市産の菊を使ったお香「百年の香り(25本入り1,050円)」を製造したのは、石岡市小幡の駒村清明堂。自然の川水による水車を利用し、伝統の製法でつくる杉線香業者である同社の新たな

試みです。その手づくり製法は、先祖代々にわたる100年の歴史が蓄積されています。古くから菊は防虫効果があるとされており、香としての癒しも含めた付加価値の高い商品を目指しています。商品開発には笠間市商工会の柴沼睦子さんと県工業技術センター産業指導所の望月聡美さんのご苦労がありました。実験のため菊まつりの菊を数百kgも運び、たくさんの試行錯誤の末、菊を粉にする事ができました。これがあれば、いろいろな商品が出来ると思えるに至りました。ただ、お香の場合、粉を入れるだけでは香りが出ない。ここに駒村さんの匠の技(企業秘密)で晴れて世に出る商品が出来たのでした。パッケージは望月さん。「菊を前面に出して、ボカシをかけ、ノス

タルジクな感じを出しました」。共に汗を流した柴沼さんは「この事業を通し、自分の足で歩き、目で確かめ、農工商連携事業、新商品開発の限らない可能性を見出す事が出来ました。今後の商工会事業、会員さんのための一助になればと思っています」と話していました。今後は香炉などで、笠間焼とのコラボも考えています。また、同プロジェクトにて開発された笠間市をイメージした石けん「土と火のソープ(1個650円)」も現在発売中。天然素材にこだわり美容用の泥を使用した本格的な手作りの石けんとして人気となっています。現在、工芸の丘をはじめ市内約10店舗で販売中。さらなる販路の拡大につとめています。詳しくは笠間市商工会まで。TEL 0296-72-0844(柴沼)

笠間好き集まれ! ファン!ファン!カサマ

FAN FAN KASAMA

Akiharu Iketani ファンファン・ピープル

池谷 明治さん 現代美術作家・建築家

人

Saori Shimazaki ファンファン・インタビュー

島崎 小乙里さん クラフト作家

間

あたたかい気持ちにさせてくれる笠間に…



ん!? 笠間を歩くとき、ごく普通の建物でも不思議と引き寄せられることが多い。仕事で住宅の設計を多くやっているからだろうか。空き家や店舗など、それぞれ歴史を重ねてきた建物たちに、来るたびにとおしさを感じてしまう。

とびとびではあるが、笠間とおつきあいでから5年ほど。今年09年は、この地で2度目の展覧会(アートカクテルin 笠間)にたすさわり、そしてそれに付随した期間限定のバーをさせてもらうことになった。

以前、ごく親しい方がこんなことを言っていた。「現代美術はそんなに難しいものじゃないよ、素直に感じる事が大切」。感じること。。。そしてそれを誰かと楽しく、少しでも共有できたら。

展覧会とバー。展示の前では、ついついよそよそしい会話となってしまうことが多い。でも、もっと気さく

に話ができるスペースがあったらいいな、と前から思っていた。一見関係ないもの同士がくっつくことが起きるかもと思う。そんなことを考えながら、さきほどの言葉にも後押しされ、夜のお話の場を作ることを思いついた。バーの物件探し。古ぼけたスナック跡、すいぶん時間が経ってしまった空き家。空間に入ると「お待ちしてました」と声をかけられた気がして、無理な決定をしかかってしまったり。いろいろ考えた。最終的には、紹介で稲荷神社横の神具店の店先にオープンした。

展覧会のほうは、こっちもちょっと普通じゃない。ギャラリーの白いスペース以外にも、空き店舗、そしてまだまだ現役の店舗、民家、学校など、普段の生活に近く近い空間で展示を行うことで地域とアート、地元の方々との距離は近いものになった。

バーのほうは。。。趣旨がうまく伝わらず、今回またちょっと距離をおいて、という感じではあったが、近隣商店街の店主さんからの多くの差し入れ、激励、そして会場店主から手厚い協力をいただいた楽しい声が行き交う場ができたと思う。感謝感謝の気持ちでいっぱいである。

笠間に来ると、昔ひとりでギリシャへ旅行に行ったときを思い出す。話をすると、包み込むような笑顔。そしてとても気さくな人柄。ギリシャという国は旅人を手厚くもてなせ、という風習があるらしく、接し方がとてもあたたかい。この感覚が笠間ととても似ているのだ。考えてみると、笠間にも神社という神聖なものがある。どこか共通する環境がある、と思うのは考え過ぎだろうか。

最後に、いつもあたたかい気持ちにさせてくれる笠間に、今度は私のほうからすこでもお役に立てていければ、と思う。

50人以上の陶芸家に参加し、8月に開催された共同企画展「LOVE BOWL」の代表を務めた島崎さんに話を伺いました。

笠間の印象は? チャレンジすることを街が受け止めてくれる場所です。

どうしてカフェオレボール? 世界共通で普遍的な形は創り手にとって共通のキャンパスになると思いました。

LOVE BOWLを開催して得たことは? 人と人とのつながり無しでは何も出来ないことを実感しました。収益金の10%を世界の飢餓に苦しむ子どもたちへ支援させていただきました。作家や多くの街の人との交流で社会貢献出来ました。

創作活動をおしてやりたいことって? 地域でも、個人でも、相手が元気になれる作品を創ることです。

今後の抱負は? 沢山の課題を解決して笠間のように地域を活かした元気なクラフト市を地元(日立)でやりたいです。

ありがとうございました。



日立市内の工房にて。

声を聞かせて!

笠間ファン倶楽部通信では、読者の皆さまの声を幅広く募集中です。皆さまの声、お待ちしております。

声 ファンファンボイス

～会員の皆様の声、いただきました～

●初めての笠間は、陶芸の街にふさわしく現代が失ったものを満たしてくれてるところでした。おだやかな気持ちになりました。(神奈川県/男性)

●疲れがたまると笠間に行きたくなります。食べ物おいしいし、日動美術館も大好きです。笠間は茨城の中で一番神社密度が高い街のため、気場があり癒されるんですね。(茨城県/女性)

●工芸の丘に度々遊びに行っていました。その度に他所にも足をのぼし、人々の温かさにもふれ、笠間が大好きになりました。(神奈川県/女性)

観光推進マネージャー 小沢に訊け! 第6回

小沢 敦...茨城県初の観光推進マネージャー。大手旅行代理店より笠間市に出向中。

笠間発見伝 = 感動価値 > 購入価格になるようなホスピタリティを

「笠間発見伝」の販売開始から約4ヶ月過ぎました。お客様には私たちの想像以上に感動して頂いています。もっと沢山の皆さんに、この感動を経験していただくためには、購入動機として見た目で安いと思ってもらえることが大事です。例えば日帰りバスツアーなどと、ほぼ同じ価格ですが単純に比較すれば高い。しかし、参加したお客様の全員といっても過言でなく、感動価値は購入価格を遙かに超えたところがあり、顧客満足度は極めて高いと言えます。価格設定は重要なことなので相当検討しましたが、今の販売価格は体験プランと周辺交通費が価格の75～85%を占めます。そこにネット販売のコストを含め今の販売価格になっています。ですから価格を大幅に下げることが不可能です。来年4月からの第二期では、事業として継続するための収益を得るための販売拡大が重要。マーケティングの4要素(価格、製品、宣伝、流通)のなかで、笠間発見伝の課題は「宣伝と流通」です。この2つというのは笠間が不得手な部分。特に流通。笠間には有力で求心力のある観光資源があるため(あったため?)お客様が来るものという長年の体質があり、外へ向けて売っていく場合に自ら確保すべき「流通」があまり必要ではなかった。笠間に来たお客様が買って良かったか否かが売り手からみて売れたか売れなかったかの判断になっている。外へ売りに出していく考え方が弱い=だから知名度も上がらない。「笠間発見伝」は旅行商品。笠間に来てから購入する、お土産や食と違い、お客様は笠間に来る前に商品を購入するのです。だから「流通と宣伝」が重要。ネット社会ですからネットは外せない流通・宣伝手段で、そこへの対策は不可欠。しかし、どういう時代でも最も効果の高い「流通と宣伝」は、人の口コミが最強であると思うのです。そのために、笠間発見伝を購入いただいたお客様全員に、感動価値 > 購入価格になるようなホスピタリティをお申しいただいた時点から始めていくことが大事だと考えます。「笠間発見伝」が売れる=笠間に弱かった外へ向けた流通の確立=笠間の知名度がアップする。これが循環拡大し笠間の経済効果に波及させるということです。

観光客が選ぶおすすめショップ

ほ キツネと栗がテーマの工芸品



マロンこんこん堂

住/笠間市笠間1338-2 (笠間稲荷門前通り商店街) 問/0296-72-7792 営/11:00～17:00 休/木、金 http://yaplog.jp/maronkonkon/

稲荷神社前に2009年9月オープン。「笠間稲荷神社のおキツネさん」と生産量日本一を誇る「笠間のおいしい栗」を題材にした工芸品のお店です。店内には様々なキツネと栗の楽しいお土産物が並び、コーヒーなどの喫茶コーナーもあります。さらに2階にはギャラリー施設あり。懐かしい雰囲気の中に新しい感覚のデザインが寄り添ったお土産に出会えます。駐車場完備。



食 笠間焼の器に鮮度抜群の料理



笑味倶楽部 やま膳

住/笠間市八雲1-2-17 問/0296-78-3300 営/17:00～22:00 休/日曜日

料理人として30年以上の経験を持つご主人が、那珂湊などで鮮度の良い地元の食材を厳選。魚、肉料理が中心で、定食、鍋(あんこう、すき焼きなど)、串焼、サラダなどメニューが豊富。飲み物も地元の日本酒や焼酎、ワインなどが充実しています。宴会料理は4千円位～。収容人数50名弱。全席個室になっているので、ご家族やグループでゆっくりと寛げます。



肉 創業40年、国産肉の専門店



ミートショップいいだ

住/笠間市下郷4067 問/0299-45-3963 営/10:00～19:00 休/月曜日

国産の豚、鳥、牛肉専門店。コロッケなどの揚げ物惣菜も豊富で、から揚げととんかつが人気です。15時から20時までは店頭でテントを張り、焼き鳥と豚串を販売中。焼き鳥はひな鳥、鳥レバー、鳥皮の3種(各80円)が。豚串は茨城のブランド豚である「ローズボーク」を使用し、タレと塩の2種類(各350円)。また、併設の「レストラン彩美亭」は肉料理が自慢!

